

越境するカルチャー

日本とドイツ

漫画とアニメの影響を受けた
日本の若者ドイツ体験

ティモ・テーレン
Timo Thelen

●金沢大学国際学類講師

異文化間における
日本ゲームの受容：
日・独プレイヤーの体験比較

ステファン・ブリュックナー
Stefan Brückner

●慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科博士課程

現代日本のマンガにおける
中近世ドイツ表象

林 祐一郎
Yuichiro Hayashi

●京都大学大学院西洋史専修修士課程

日独の若者における
ライフスタイルを通じた
政治と社会運動

富永京子
Kyoko Tominaga

●立命館大学産業社会学部准教授

ベルリン在住
日本人アーティストの活動
— 一定住と移動のはざままで

高橋かおり
Kaori Takahashi

●立教大学社会情報教育研究センター助教

司会

田野大輔 Daisuke Tano

●甲南大学文学部教授

吉田 純 Jun Yoshida

●京都大学大学院人間・環境学研究科教授

参加費無料
日英同時通訳

2020年 **2月19日** (水) 13:30~17:00
(受付開始 13:00)

京都大学 文学部校舎2階 第3講義室

シンポジウム終了後、カフェレストラン カンフォーラにて交流会を行ないます (17:30~)

お申し込み方法

山岡記念財団ホームページより
お申し込みください。

<https://yamaoka-memorial.or.jp>

ネットでお申し込みの方は、12:45より優先入場して頂けます。
申し込み締め切り：2020年2月18日12:00迄。



主催 一般財団法人 山岡記念財団 〒530-0014 大阪市北区鶴野町 1-9 梅田ゲートタワー 18F Tel:06-7636-0219 Fax:06-7636-0212
E-mail:yamaoka-memorial@yanmar.com

共催 京都大学
KYOTO UNIVERSITY

大学院人間・環境学研究科 学際教育研究部

後援

ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ

ドイツ連邦共和国総領事館

GOETHE
INSTITUT

ゲーテ・インスティテュート大阪・京都

一般社団法人 大阪日独協会

YANMAR

越境するカルチャー ～日本とドイツ～



ティモ・テーレン Timo Thelen

金沢大学国際学類講師。日本学と民族学が専門。現代のポップカルチャーとコンテンツツーリズムの研究を行っている。

漫画とアニメの影響を受けた日本の若者ドイツ体験

『鋼の錬金術師』と『進撃の巨人』など、ドイツの歴史や物語を題材とした漫画やアニメは多く、人気も高い。本プロジェクトでは、ドイツ滞在中の日本の若者に対しインタビュー調査を行い、これらのメディアの消費が彼らのドイツ体験をどう形成しているのかについて調べた。その結果、若者の興味の対象だけではなく、彼らを通じた日本とドイツの交流についても参考になる成果が得られた。



林 祐一郎 Yuichiro Hayashi

京都大学大学院西洋史専修修士課程に在籍中。近世ドイツ史を専攻する傍ら、若者たちの間での歴史物の受容にも関心を持つ。

現代日本のマンガにおける中近世ドイツ表象

日本では近代以前の人物・事件を題材とするマンガが増加の一途を辿っており、ドイツを舞台とするものも存在する。本報告では、中近世ドイツ（神聖ローマ帝国）を扱った三作品『乙女戦争』『魔女をまもる。』『辺獄のシュヴェスタ』を対象に、マンガにおける中近世ドイツ表象とその背景を分析する。



高橋かおり Kaori Takahashi

立教大学社会情報教育研究センター助教。文化社会学、芸術社会学が専門。芸術に関わる人たちのキャリアや、芸術との関わり方とそれに関わる選択について、社会学的に研究。フィールドは演劇、美術、音楽。

ベルリン在住日本人アーティストの活動——定住と移動のはざままで

ベルリンはこれまで数多くの芸術関係者を惹きつけてきた。それは日本人も例外ではない。本研究では日本出身のアーティストへの聞き取り調査を通じて、彼ら・彼女らがベルリンでの活動をどのように位置づけ、そして意味づけているのかを明らかにする。その上で、彼ら・彼女らを取りとりまく国際的／現地（ドイツ・ベルリン）的／国内（日本）的ネットワークのあり方を読み解く。



ステファン・ブリュックナー Stefan Brückner

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科博士課程に在籍中。デジタルゲーム研究・メディア研究が専門。異文化間におけるゲームの受容プロセス、プレイヤー体験、またはゲームと倫理について研究している。

異文化間における日本ゲームの受容：日・独プレイヤーの体験比較

日本で開発されるデジタルゲームはドイツでも多くの人々に親しまれているが、それらの受容プロセスはプレイヤーの文化的な背景が影響し、決して同一ではない。本研究はユーザーレビューおよび日本人とドイツ人を対象としたプレイ実験の結果を分析し、日・独間における受容意識の違いや彼らを取り囲む文化について考える。



富永京子 Kyoko Tominaga

立命館大学産業社会学部准教授。社会運動論が専門。ライフスタイルを通じた社会運動を中心に検討している。主著として、『社会運動のサブカルチャー化』（せりか書房）など。

日独の若者におけるライフスタイルを通じた政治と社会運動

若者の政治的関心はどのような形で社会運動参加に結びつくのだろうか。本研究は、若者たちが日常生活を共有しながら政治的関心を醸成し、その関心をもとに社会運動・政治活動を行う過程を、日本とドイツの若者アクティヴィストが運営するアクティヴィスト・ハウジングの居住者に対する聞き取り調査をもとに分析する。



司会

田野大輔

甲南大学文学部教授・山岡記念財団諮問委員

歴史社会学、ドイツ現代史が専門。現代ドイツの若者文化やライフスタイルの問題にも関心をもつ。



吉田 純

京都大学大学院人間・環境学研究科教授・山岡記念財団諮問委員

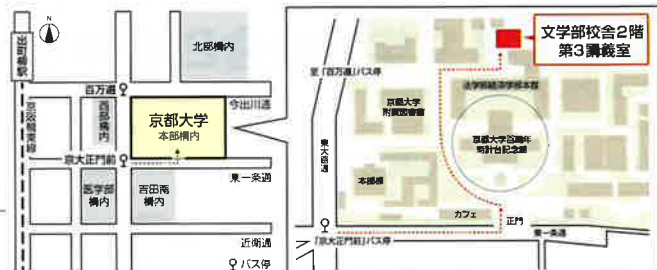
理論社会学、社会情報学が専門。ネット社会やメディアカルチャーの問題にも関心をもつ。

交通アクセス



●市バス 系統および経路

乗車ICカード	下車バス停	
京都駅前	206系統 「東山通 北小路」(スターミナル)行	京大正門前
	17系統 「河原町通 塩町寺 錦林車庫」行	百万円
丸太今出川	201系統 「百万円 祇園」行	京大正門前
	203系統 「今出川通 塩町寺道 錦林車庫」行	百万円
四条河原町①	201系統 「祇園 百万円」行	京大正門前
	31系統 「東山通 高野岩倉」行	京大正門前
四条河原町②	3系統 「百万円 北白川」(仕伏町)行	百万円
	17系統 「河原町通 塩町寺 錦林車庫」行	百万円



京都大学 文学部校舎2階 第3講義室